

## リーディング大学院認定式 リーディング院生代表挨拶 2017

東北大学リーディング大学院新入生の佐藤悠司と申します。グローバル安全学トップリーダー育成プログラム、並びにマルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムの新入生を代表し、ご挨拶をさせていただきます。

この東北の地にも、間もなく暖かな春の季節が訪れようとしています。私たちは、将来への大いなる夢と希望を胸に、東北大学リーディング大学院認定式を迎えました。

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災から六年が経過し、かつての被災地は着実に復興への歩みを進めています。私は、震災復興を支援する地域支援団体に参画してきました。その中で、仮設住宅に住む住民の方々が互いに支え合い、復興に向けて前向きに取り組む姿勢が強く印象に残りました。特に、震災の混乱の最中に臆することなく、復興活動の中心を担い、多くの方に声を掛け続けたリーダーの存在が、住民の方々に希望の光をもたらし、震災で大きな打撃を受けた地域社会の回復と発展に貢献したのだと強く確信しました。どのような組織であっても、人々を先導するリーダー的存在は必ず求められます。

特に、私たちには世界規模の災害リスクをはじめとした数々の諸問題を解決へと導くグローバルリーダーとして活躍する使命が課せられています。東日本大震災以後も、ちょうど1年前に発生した熊本地震をはじめとして、度々報道される国内外の気象災害、食糧・エネルギー問題など、私たちの暮らしを脅かす脅威は、世界中のどこにいても逃れることはできません。だからこそ、人類が直面する様々なリスクに立ち向かわなければならず、高度かつ広範囲に渡る専門性と問題解決能力を備える、リーダーとしての資質を有する人材が世界各地で必要とされています。

私たちは、防災分野において先進国である日本・仙台にて、それぞれ特色のある2つのリーディングプログラムを受講するチャンスをいただきました。この機会を決して無駄にすることなく、多種多様な分野を専攻する学生の皆様とともに、グローバルに活躍するトップリーダーになるべく、日々尽力して参ります。本プログラムで専門性を究め、主体的に行動を起こし、失敗を恐れず何事にも挑戦し続けることで、社会に革新をもたらすリーダー的存在に少しでも近づくことができることでしょう。

この先、様々なリスクが取り巻くこの地球社会を私たち自身の手で守っていかなければなりません。本プログラムを通して得られる知識や経験は、私たちの将来、ひいては日本や世界の輝かしい未来を築き上げることに間違いなく活かせることでしょう。「安全・安心」

な社会の実現に向けて、確固たる決意を新たに、リーダーとしての責務に正面から立ち向かい、勇気をもって最初の第一歩を踏み出していきます。

最後になりましたが、リーディング大学院を運営していただきありがとうございます、先生方をはじめとする全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

平成 29 年 4 月 3 日

リーディング大学院グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

新入生代表 佐藤 悠司